



# 議会だより

No.233

2026.4.30



市議会ホームページ

● 令和8年3月定例会 ●

編集発行：加茂市議会 〒959-1392 新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL：0256-52-0080（代表） FAX：0256-53-4684

HP：https://www.city.kamo.niigata.jp/ E-mail：gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



## みんなの声が集まる より開かれた議会へ



加茂市議会 女性フォーラム			
— 私の生活と議員の仕事 —			
加茂市	燕市	上越市	見附市
杉田 優子 氏 加茂市議会議員 加茂市出身	高橋 妙子 氏 燕市議会議員 新潟市出身	ストラットン 恵美子 氏 上越市議会議員 三上市出身	信賀 陽子 氏 見附市議会議員 長岡市出身
創立加茂純看護専門学校を経て、2023年初当選の1期目。産業界生業任委員、議会改革特別委員。	高等学校卒業。2022年初当選の1期目。市長選挙特別副委員長、議会広報特別副委員長、大川津村大次郎卒業促進特別委員。	2004年に米国籍の夫と結婚。上越へ、2020年初当選、2期目。厚生常任委員、広報広聴委員、議会改革推進特別副委員長。結婚・大川津保健環境議員連盟会長。	大学卒業後、都内の会社事務所に勤務。中越地域を軸にNPO・社会福祉協議会等で被災者支援に従事。2022年初当選の1期目。結婚文化委員。

四市の議員がパネリストとして参加したフォーラム開催

## 加茂市議会による6月議会報告会（座談会）

次の通り開催を予定しています！

- 日時** 令和8年7月11日（土）9：30～
- 場所** 加茂市役所 5階 全員協議会室
- 主催** 加茂市議会
- 申込先** 加茂市議会事務局 ☎52-0080（内線512）

6月定例会は6月17日（水）～6月26日（金）を予定しています。

### 加茂市議会の YouTube チャンネルを開設しました

加茂市議会からのご案内や一般質問等、議会の活動を皆さまにお届けいたします。



YouTube

加茂市議会

🔍 検索

誌面や加茂市議会へのご意見・ご要望がありましたら 加茂市議会事務局 ☎52-0080（内線512）まで

# 加茂市公共施設再編 アクションプランについて

加茂市議会3月定例会の全員協議会にて、本年3月に策定された加茂市公共施設再編アクションプラン（以下、アクションプラン）の説明と質疑が行われました。  
ここでは、その概要と協議会での主な質疑内容を紹介します。

## アクションプランの概要

### ● 策定の背景

加茂市では1970～80年代に公共施設が集中的に整備されましたが、現在は施設の老朽化や人口減少、財政難が大きな課題となっています。加茂市の目指す将来像「笑顔あふれるまち加茂」の実現に向け、施設の長寿命化や集約、廃止などの適正化を進める必要があります。そこで市は、長期的な視点で計画的な投資を行い、市民負担を抑えつつ持続可能なまちを次世代へ引き継ぐため、アクションプランを策定しました。

### ● 計画期間

令和8年4月から令和28年3月までの20年間を計画期間としています。

3年ごとに達成度評価を行うとともに、10%以上の遅れが生じている場合には改善策が作成され、これを公表することで実効性が確保されます。

### ● 対象範囲

市が保有する公共施設の建物資産（行政財産・普通財産）を対象とします。

今後、道路や橋梁などインフラを除くすべての施設管理は、原則としてこのアクションプランに沿って行われます。

### ● プラン案の説明会から

アクションプランの策定にあたり、市内85地区及び関係団体などを対象に、合計103回の説明会が開催されました。のべ1262名の方が参加し、様々な立場の方からご意見がありました。特に「避難所」や「将来への希望・期待」に関する多くの声が寄せられ、その内容は最終的なプランの各所に反映されています。

### ● 未来へ続く道しるべ

この策定によって、ようやく持続可能な未来の実現に向けたスタートラインに立つことができました。今後は、行政と市民が連携・協力していくことが不可欠です。これこそが「持続可能な未来に向けて健全な財政運営を行うまち」を実現し、未来に希望を灯すための現実的な唯一の道のりです。



アクションプランを定めたことで実現に向かう取組（一部抜粋）

## 全員協議会の質疑から

### ● 地区内での協議会設置

**Q** 市と地域との協議会を設置して、定期的な進捗報告と意見交換を行いながら方針を決定する計画が示されている施設がある。この協議・検討の際の市の立場について聞く。

**A** いくつかの施設で協議会を設置して在り方を検討する。その協議会の設置について、対象への声掛けは市が行う。しかし、意見を押し付けるのではなく住民から主体的に考えていただくものであり、できるならば運営も含め検討していただきたい。市と一緒に考える存在として、国の補助金など、必要な情報を提供しながら進めたい。

### ● 一体型複合文教エリア

**Q** 一体型複合文教エリアの開発が取組として示されているが、これは決定事項か。

**A** このエリアの開発については教育委員会の所管であり、あくま

でも市長部局が推奨するものという考えである。  
教育委員会での決定を経てからの事業となる。

### ● 市立図書館

**Q** 図書館の施設や設備の更新は原則として実施しないとしながらも、起債の可能性を示しているがどのような意味か。

**A** 市民から図書館を十分に活用いただけるよう努める中で、機能充実のための改修・更新が必要になる可能性がある。  
起債の必要な事業が発生した際には、2040年までに償還が終了するよう早急に対応しなければいけないと考えている。

### ● 複合施設の入浴施設

**Q** 子育て・健康づくり拠点複合施設に入浴設備が設置されるとのことだが、概要を聞く。

**A** 各地区での説明会を踏まえ、避難所機能とコミュニティ機能を強化するため入浴設備を複合施設に追加した。現在の須田コミセンの規模と同程度を想定している。

既存の入浴設備は老朽化が進んでいるので、複合施設に入浴機能を集約し、下条、須田、七谷の各コミセンは複合施設の供用が開始された時点で入浴設備を廃止する。  
中央コミセンについては現在の設備が使用できる限り継続するが、設備の更新は実施しない。

### ● 予算の削減効果

**Q** 計画期間内に削減される費用とは、毎年度の予算が施設廃止によりかからなくなる積算金額のことか。

**A** そのとおり。アクションプラン公表後、施設カルテにより各施設の現状を示す予定である。

### ● 資産の売却

**Q** 建物資産の売却についての考えを聞く。

**A** 不要な施設を残さず活用するか、除却・売却するかを明確にして措置する。アクションプランに則り進める。

### ● 住民説明会

**Q** 策定後の住民説明会は行われる

か。

**A** 昨年実施したような地区別説明会を行わない。プランの公表を行ったのちは、各所・団体の希望があれば対話の場を設けていきたい。

### ● 費用算定方法

**Q** 今後の施設にかかる費用の算定方法はどのように行われたか。

**A** 物価変動カーブを加味し、毎年度上昇していく想定で試算した。



R8.3.31公表されたアクションプラン

## 「公共施設再編アクションプラン」について



大志の会  
森山 一理



視聴はこちら

### 質問の意図

「公共施設再編アクションプラン」の地区説明会を昨年藤田市長が103か所で開催した。市民の声をどう市政に反映させるのか。

4月に設立予定の一般社団法人加茂市観光協会について、法

**Q** 公共施設再編アクションプラン

について、以下の考えを伺う。

一、説明会をきっかけとした具体的施策への反映を聞く。

二、第四北越フィナンシャルグループとの連携の進捗はどうか。

三、人口減少・少子化対策の予算に関わる項目と規模感を聞く。

**A**

一、公民館、市民体育館の跡地利用を防災機能付き多目的ホールの整備に変更した。

二、市有地の活用に向けた情報共有を行いニーズ把握に努めた。

三、移住定住・結婚支援に1778万円、子育て分野では不妊治療助成事業拡充で700万円を計上した。「若者・女性に選ばれる魅力的なまち」の実現を目指す。

八十里越え開通に伴い、加茂市は広域観光のゲートウェイになる。若宮町道半交差点の改良・拡福には地元住民への説明・理解・協力が必要。

人の財源確保と安定運営を目指す三点の提案を行った。

八十里越え開通予定に伴い、加茂市は広域観光のゲートウェイになる。若宮町道半交差点の改良・拡福には地元住民への説明・理解・協力が必要。

四、道の駅の整備について検討委員会等の設置も視野に入れながら調査・研究を続ける。

**Q** 一般社団法人加茂市観光協会設立に際し、以下の提案をする。

一、ふるさと納税の業務委託。

二、旅行業登録をして「着地型ツアー」の企画販売を行う。

三、隣接地を買収し有料駐車場の運営を行う。

**A**

一、業務委託は難しい。

二、今後検討する価値はある。

三、隣接地を購入することは考えていない。

**Q** 「八十里越え開通—加茂市はゲートウェイ」への考えを聞く。

**A** 道半交差点の改良を最重要課題と位置づけ、新潟県と協議検討を重ね事業の方向性を定め、たう

えで地域の方々に説明する。

## ・診療所閉院で加茂病院の充実は急務 ・公共施設にも生理用品の設置を



市政倶楽部・日本共産党  
杉田 優子



視聴はこちら

### 質問の意図

加茂市内の診療所は、医師の高齢化などにより、二つの医院が3月末で閉院します。泌尿器科、精神科の受診は、市内では加茂病院が中心となります。

しかし、泌尿器科は現在、週1回半日の診療に限られてお

**Q** 3月末で市内二つの診療所が閉

院します。この状況を踏まえ、

県と加茂病院に対し、泌尿器科と精神科の診療日や診療時間の拡充について、どのように対応していくのか伺います。

**A** わたなべ医院の閉院については、市内に他に泌尿器科の診療所がないため、泌尿器科を設けている加茂病院が受け皿として重要な役割を担うことになると考えられます。

しかし、泌尿器科の診療日は現在、週1回半日のみであり、患者数の増加に伴い負担が増すことが見込まれます。そのため、

現在、加茂病院において、医師を派遣している新潟大学医学総合病院に対し、診療枠を増や

していただけのように要望し、調

り、加茂病院の充実は待ったなしの課題ではないでしょうか。

また、生理用品の設置は、全国的に中小学校のトイレから公共施設へと広がってきており、

加茂市としても取り組むべきと考えます。

整を進めているところです。また、精神科については、加茂病院において診療日の増枠に向けた努力がなされていますが、すぐに実現できる状況にないとの報告を受けています。

市としても、引き続き医療機関へは加茂市診療所設置奨励事業補助金などについて周知を図り、医療資源の確保と地域医療体制の充実に努めていきます。

**Q** 今後は、公共施設のトイレにも生理用品の設置を広げていくべきと考えますが、加茂市ではどのように取り組めますか。

**A** 今後は、公益財団法人新潟県女性財団に対し、公共施設のトイレなどにも設置できるように必要数を要望し、各公共施設に提供

できるよう努めていきます。

## 公用車や市施設の

### NHK受信料支払いについて



会派青天  
大橋 一久



視聴はこちら

### 質問の意図



・テレビ視聴を目的としない公用車のカーナビへのNHK受信料の支払いは市民の理解は得られるでしょうか。・冬鳥越をどのように考え、どのように活用を行うのか。・令和8年度から小学校で給食無償化が行われる

Q 公用車のカーナビへの受信料の支出は市民の理解を得られる支出でしょうか。

A カーナビを搭載する必要性を精査し、カーナビ搭載が必要な場合はテレビの受信機能がないものを指定し、発注を行うこととしています。

Q 旧バラ園についてお聞きします。令和8年度予算案では、バラ株撤去・整地作業委託料として183万円が計上されています。この予算で何本のバラを抜く予定でしょうか。

A バラ300本を抜根・処分し、整地する費用です。

Q 給食はただではなくコストがかかっています。給食無償化はお父さんお母さんを含む多くの市民が納税しているから実現でき

が手間や費用のかかっている給食を「無償」との表現でよいのか。今年11月から一部地域で三条市への可燃ごみの委託に向けた実証実験が行われる。市民の方々に向けた周知をどのように考えるか。

Q 「無償化」とは言わず、他の言葉を使うべきと考えますか、いかがでしょうか。

A 学校では、毎日の給食を、多くの方々の支えによって成り立っていることを正しく理解し、感謝の気持ちを持って食べるよう、子ども達に指導しています。そのため「無償化」という言葉の使用が、給食を支える多くの方々への営みを軽んじることにはならないと考えています。

Q 今年11月より三条市への可燃ごみの処理委託に向けての検証が始まります。市民の方々にはいつ、どのようにアナウンスをおこなうのでしょうか。

A 令和8年度から広報かもやチラシ等で市内一円全市民に向け周知する予定です。

Q リノベーションまちづくりの導入と理解・機運の醸成につい

## 令和8年度予算案、大きく攻める笑顔 でみせる明るい未来へ続くみちについて



会派青天  
山田 宗



視聴はこちら

### 質問の意図



3月議会は次年度の予算案、事業案を諮る内容となっています。加茂市がどこからどこへむかっていくのか、加茂市の最上位計画である総合計画後期計画

Q 大きく攻める笑顔でみせる明るい未来へ続くみちとあるが、大きく攻めるとは何を指しているか。

A 子育て・健康づくり拠点複合施設については、実施設計を踏まえて建設工事に着手。統合中学校の整備については、令和9年度の工事に着手に向けて詳細設計を行う。給食センターの新設については、令和8年度の第一四半期のうちに基本計画を策定し、令和8年度中には基本設計に着手する予定。人口減少や少子高齢化という問題に対し、加茂という地域が抱える課題と向き合いながら、最も重点的に予算を配分したことが、「大きく攻める」と表現した意図である。

Q リノベーションまちづくりの導入と理解・機運の醸成につい

を出発地点とし、令和8年度予算案は、人口減少の課題をどうやって解決して、未来へむかっていくのか、質疑しました。

Q リノベーションまちづくりの具体的な内容と、どのような機運を醸成したいのか伺う。

A リノベーションまちづくりとは、「今ある資産を活用して自治体の都市・地域経営課題を解決していくこと」である。実際の空き物件を題材に地域を変えたいと考える若手から参加者を募り、参加者同士で考えた事業を提案・実現するリノベーションスクールを実施するなど、加茂市内で新たな挑戦をしてみたい、まちの暮らしをもっと豊かにしたい、と考えている個人や事業者がリノベーションまちづくりの考え方に根差した、民間が主導する公民連携のまちづくりを推進するための機運を醸成したいと考える。

・障がい者福祉事業について  
・教育機関との連携について



大志の会  
滝沢 茂秋



視聴はこちら

POINT!! 質問の意図



テーマは二つ、障がい者福祉事業、学園都市としての価値を高める連携についてです。

近年の加茂市では、障がい者福祉政策が大きく進展している印象があります。一方で、まだまだ多くの問題があることから、

現状の課題と対策を明らかにすることを目標に質問しました。

もう一つは、街全体が学園都市というコンセプトに基づき、若い活力が経済や文化と融合し循環するエリアを目指すべきだと考え質問したものです。

Q 障がい者福祉事業について、有効な施策を導き出すことを目的に、ライフステージごとの特性を勘案した調査を行うべきと考えるがいかがか。

A 市としても重要な視点と認識している。今年度、当事者を対象にアンケートを実施したが、原則として介護保険サービスが優先される65歳以上の方は調査対象から除外し、主として64歳以下の障害者手帳所持者及び障がい福祉サービス利用者層から、無作為抽出により対象者を選定した。現役世代の意見が反映された結果となっていると考える。

A 望について聞く。

令和6年度と7年度のいずれも利用者数の目標を下回っている。要因は、障がい特性により受入れが難しい場合があること、利用希望が土日祝日に集中すること、市内の事業所が限られていることなど。引き続き短期入所事業所と協議していく。

Q 学園都市の価値を最大化する連携について。行政と高校・大学との連携は1対1の関係が主だが、強みを掛け合わせる連携が理想である。各主体が集結する連合体を形成してはどうか。

A 各校と行政・産業団体で組織する協議会の設立や生徒同士の交流、市の施策に対し意見や提案をいただくなど、大きな連携に結び付けられるか考えたい。

Q 令和8年度の短期入所（福祉型）利用者の目標値達成に向け、現在の進捗はいかがか。現況に照らし合わせての課題と展

加茂市公共施設再編  
アクションプランについて



市政倶楽部・日本共産党  
近藤 ゆみ



視聴はこちら

POINT!! 質問の意図



加茂市公共施設再編アクションプランが策定される予定となっており、これまで100以上にわたる説明会を実施した市長、また市の職員の皆様の

働きには頭が下がる思いです。しかしながら、これほど時間と労力を使用した事に対しては結果と効果を確認させていただきたいと考えています。

Q 100回以上にわたる説明会の成果や所感はどうか、また参加者の年齢や性別に偏りはあったか。

A のべ1262名の市民からご参加をいただき、様々な立場にある方々から貴重なご意見を直接伺うことができました。地区別説明会は、一会場あたりの平均参加人数は11・3人で、地域によって大きな偏りはない。男女別の参加者数は、男性が875人で69%、女性が387人で31%だった。

A 最も多かったのが、「データの量が多く、説明会という限られた時間の中で理解するのが難しい」という意見だった。把握した課題については、適切な時期と方法で対策を講じ、市民の不安の解消に努める。

Q 音声や動画を使用した常にあるアクセスできる仕組みが必要なのではないか、改善は可能か。

A 説明会は終了したため音声や動画の作成は行わないが、今後は市の計画や方針などより多くの方にご理解いただけるよう、書面での情報提供を継続しつつデジタル技術を効果的に活用し、内容を分かりやすく解説した音声資料や動画コンテンツについて検討を進める。

Q 内容について課題や改善があった

A い世代が市政に触れ、意見を交わらせる場づくりに努める。

Q 内容について課題や改善があっ

A わせる場づくりに努める。

## 空き家バンク制度について 学生支援の拡充について



公明党  
三沢 嘉男



視聴はこちら

### 質問の意図



市の空き家バンクは貧弱だとし度々改善を求めてきました。業者が取り扱わない物件のセーフティネットの役割とのことでした。しかし、令和8年1月に示された加茂市過疎地域持続的発展計画（案）では、空

空き家バンク制度について

**Q** 移住定住促進を目的とするなら、情報量や室内画像などは最低限必要な情報。他市のように改善を求めるのがいかがか。

**A** 家財等の残置物がある写真の掲載は、空き巣被害に遭う危険性が高まるため意図的に控えているが、マッチングの促進につながる情報を提供していけるよう改善に努める。

**Q** リノベーションした空き家の活用や、四季を感じる移住体験ツアーの実施に取り組んでは。

**A** 雪国移住体験ツアーを開催した。令和8年度からは、移住定住施策を民間事業者に委託し、移住相談体制の強化や移住体験ツアーの充実、住宅支援策の検討など、取組を更に発展させて

き家バンクの登録と利用を促進するとあり、今後の方向性について質問しました。また、学生支援の拡充は、大学生等の支援が乏しく保護者の負担も大きいことから、ここに目を向けるべきとの想いで質問しました。

学生支援の拡充について

**Q** 独自の健康保険制度がない大学等に通う学生に対し、医療費助成を検討してはいかがか。

**A** 対象となる学生の範囲の設定や継続的かつ安定的に運営するための財源の確保が課題。他市を参考に慎重に検討したい。

**Q** 1人当たり1万円を支給するところが決定したが、住民票を異動している学生等は対象外。物価などで負担の大きい大学生等や保護者に対して支援できないか。

**A** 今後、同様の臨時交付金が交付される場合、学生または保護者への給付金事業が対象となるか、また市の財政負担が伴うのかなどを研究し検討していきたい。

## 公共施設再編アクションプランの実効性について



会派青天  
森 友和



視聴はこちら

### 質問の意図



令和8年度加茂市一般会計予算案は、前年度に比べ14・6億円増額した内容で示された。今後、公共施設再編アクションプランが施行されていくにあたり、現状での長期財政シミュ

「長期財政シミュレーション」

**Q** は、令和6年2月に作成されたものから、最新のデータに基づき修正・更新されているのか。

**A** 加茂市公共施設再編アクションプラン策定が最終段階に入ったことから、その（案）を反映させた長期財政シミュレーションを作成した。

**Q** 本市の行政運営に支障をきたさないかと判断する「将来負担比率の許容範囲」をどのように設定されているのか。また、持続可能な行政運営を両立させていくための「投資の妥当性を判断する具体的な指標」について、市の見解を伺う。

**A** 今後20年間は投資的経費が大きくなる。その間は、財政調整基金残高3億円程度を維持できる範囲内であれば、行財政運営に

レーションにおいて、加茂市の財政状況は将来どの程度改善するのか、またどの程度困難を抱えているのかを中心に、公共施設再編アクションプランの実現可能性を考えます。

支障をきたさずに投資していただけるものと判断する。

**Q** 公共施設再編アクションプランの進捗管理の体制について伺う。

**A** 重要業績評価指標については、3か年ごとに達成すべき削減面積を目標として定め、その目標への到達度を評価する。

**Q** 施設の削減や再編といった計画に遅延が生じた際の「改善策」について。具体的にどのような内容を想定されているのか。

**A** あらゆることが想定される。避けては通れない困難な判断を伴う局面であっても、市民の皆さまから納得していただくため、重要業績評価指標による達成度の評価と、遅延が生じた場合の改善策の策定・公表については、極めて厳格に運用していきたい。

# 令和8年度 加茂市一般会計及び 各会計当初予算について

## 予算審査にかかると 委員会構成

加茂市議会では、令和8年度当初予算の審査については2つの特別委員会を設置し、両委員会とも議員全員で構成し、審査を行いました。

予算審査第1特別委員会においては、産業民生常任委員会が所管する各課の一般会計歳出についての予算及び国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、宅地造成事業特別会計予算、介護保険特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算を審査しました。

予算審査第2特別委員会においては、一般会計歳入、総務文教常任委員会が所管する各課の一般会計歳出についての予算を審査しました。

## 各会計予算と

### 採決の結果

予算審査第1特別委員会における採決、予算審査第2特別委

員会における採決については、次のとおりです。なお、本会議における採決の結果については、本紙12ページの議案審議結果をご覧ください。

**第3号議案 令和8年度加茂市一般会計予算**

予算総額142億8300万円、前年度に対して11・4%増。

予算審査第1特別委員会所管の部分及び予算審査第2特別委員会所管の部分における採決は、全会一致で可決。

**第4号議案 令和8年度加茂市国民健康保険特別会計予算**

予算総額25億5362万円、前年度に対して0・3%減。

委員会における採決は、全会一致で可決。

**第5号議案 令和8年度加茂市後期高齢者医療特別会計予算**

予算総額4億8156万円、

前年度に対して18・8%増。委員会における採決は、全会一致で可決。

**第6号議案 令和8年度加茂市宅地造成事業特別会計予算**

予算総額1億4733万円、前年度と同額。

委員会における採決は、全会一致で可決。

**第7号議案 令和8年度加茂市介護保険特別会計予算**

予算総額34億6532万円、前年度に対して0・7%減。

委員会における採決は、全会一致で可決。

**第8号議案 令和8年度加茂市水道事業会計予算**

**収益的収支** 水道事業収益6億661万円、水道事業費用5億3070万円。

**資本的収支** 資本的収入9840万円、資本的支出1億4479万円。

**留保資金** 過年度分2億6145万円、当年度分8521万円。

委員会における採決は、全会一致で可決。

**第9号議案 令和8年度加茂市下水道事業会計予算**

**収益的収支** 下水道事業収益12億2508万円、下水道事業費用11億4247万円。

**資本的収支** 資本的収入9億8600万円、資本的支出13億8412万円。

**留保資金** 過年度分2767万円、当年度分3億3519万円。

委員会における採決は、全会一致で可決。

## 財政構造

令和8年度加茂市当初予算の実質公債費比率は8・3%、令和7年度見込みに対し0・8%減、将来負担比率は75・6%、令和7年度見込みに対し19・5%増、市債残高は95億3000万円、財政調整基金残高は11億5000万円の見込みです。

一般会計及び各特別会計の当初予算の合計額は、209億3085万円、前年度に対し7・8%増です。

予算審査第1特別委員会  
(産業民生関連)

こんな質問がありました

Q 下条コミュニティセンター長寿  
命化工事設計業務委託料の詳細  
を伺う。

A 築30年経過しており、この先20  
年使えるよう長寿命化するため  
の設計費用。入口の改修、バリ  
アフリー化を検討している。

Q 地域おこし協力隊事業費桐箆筥  
職人後継者育成事業の詳細を伺  
う。

A 木工業関係の担い手不足問題か  
ら協力隊制度を活用することにな  
った。予定は3年間で2名が  
木工職人を目指して技術を取得  
する。期間後も継続して事業所  
で雇用する予定である。

Q ふるさと加茂応援寄附金を10億  
円としているが、基本的戦略  
は。令和7年度は米騒動があり  
注文が増えたが、今後の見通し  
はどうか。

A 今の返礼品の出品状況から10億  
円は手の届く目標として設定し  
た。イベントに出展して返礼品  
のPRも行い、目標で終わらせ  
ないよう取り組む。

Q 診療所設置奨励事業補助金につ  
いて、産科や小児科など市に不  
足している診療科を優先して誘  
致する方針はあるか。

A まずは診療所を増やす事を優先  
している。他市町村との比較や  
医師会と協議した結果、最大5  
000万円まで補助する。

Q 不妊治療助成事業費補助金が上  
限50万円から70万円に拡充した  
が、過去の実績はどうか。

A 令和6年度は21件の申請があ  
り、そのうち10件で妊娠が成立  
した。令和7年度は19件の申請  
があり、そのうち7件で妊娠が  
成立した。

Q 加茂ショッピングパークメリア  
3階は今後どうなるか。

A 現状はフリースペースの状態  
で運営している。今後は子どもと  
高校生による地場産品のPRの  
場としての活用などを検討して  
いきたい。

Q 土産物センターに観光協会が移  
転するが、物販は行う予定か。

A 観光協会が自走するためには事  
業収入が必要であることから、  
物販は行う予定。

予算審査第2特別委員会  
(総務文教関連)

こんな質問がありました

Q 生成AI環境構築委託料・研修  
委託料の詳細を伺う。

A 生成AIサービスの無償版から  
有償版へ活用を広げる。一般職  
員向けと管理職向けの2区分に  
分け研修を行い、月あたり市役  
所全体で69時間の業務量の削減  
を見込んでいる。

Q 加茂文化会館の指定管理委託料  
が増額した理由は何か。

A 5400万円から5500万の  
100万円増額。基本協定書に  
則り管理者が管理業務を委託す  
るが、清掃業務、庭園管理業務、  
防災設備点検業務などの人件費  
が増加したため。

Q 災害対策推進費の自主防災組織  
の進捗はどうか。

A 18組織で組織率は31・94%だ  
が、50%を目指したい。

Q 旧生田屋解体はいつからか。

A 未定であるが、令和8年度に解  
体工事入札を行い決定していく。

Q 国際交流事業費の詳細を伺う。

A 令和8年度は視察旅費4人分  
8月頃予定している。令和10年

度に中学生のホームステイを予  
定している。

Q 地域活性化推進費の地域みらい  
留学参画負担金の詳細を伺う。

A 一般財団法人地域・教育魅力化  
プラットフォームに参画し、県  
外から高校生を受け入れ関係人  
口を増やす事業である。

Q 地域おこし協力隊事業費の移  
住・定住促進事業1100万円  
の詳細を伺う。

A 地域おこし協力隊員1名550  
万円、募集経費350万円、イ  
ンターン就業型体験200万円  
が特別交付税措置される。移住  
定住事業をノウハウのある民間  
事業者を実施してもらい、移住  
者数は年間5名を目標にしてい  
る。

Q 統合小学校整備計画策定委託料  
について、統合後の小学校の送  
迎で駐車スペースが必要になる  
が。

A 駐車場の問題は重要と認識して  
いる。現在の敷地を広げるのは  
難しく空いている場所を借りて  
台数を確保することは想定して  
いる。

# 議会改革特別委員会 中間報告

令和8年3月17日報告

令和8年3月定例会最終日、議会改革特別委員会の三沢委員長より、これまでの調査研究の成果となる中間報告が行われました。

## 【中間報告の概要】

加茂市議会では、令和9年4月に予定されている次期市議会議員一般選挙に向け、「これからの加茂市にふさわしい議会の在り方」を根本から検討するため、令和7年9月に「議会改革特別委員会」を設置しました。

本委員会では、これまで全7回にわたる議論や先進地（長野県佐久市・小諸市）への視察を通じて、定数や報酬、活動環境の整備について調査研究を重ねてきました。

## 1. なぜ今、改革が必要なのか？

今回の改革の目的は、単なるコストカットではありません。最大の目的は、「市民の負託に応えられる、意欲と能力のある人材が、生活の不安なく議会へ参画できる環境を整え

れた意思決定機関」を目指す方向性。

## ①〈議員定数〉

委員会の議論は、主に次の4つの視点を軸に進めています。

### 「質の追求」と「民意の網羅性」

少数精鋭による「質の追求」定数を絞り込むことで、一人ひとりの発言責任を重くし、議論を深化させる。専門性の高い「洗練さ

多様な「民意の網羅性」幅広い世代、職種、地域からの参画を促すため、一定の数を確保し、きめ細かく市民の声を拾い上げる「民意の受け皿」としての機能を重視する方向性。

## ②〈議員報酬〉

### 「次世代への投資」と多様性の確保

可処分所得の構造的課題議員には厚生年金が適用されないことや、選挙費用の蓄えが必要なことなど、民間給与と比較して「手元に残るお金（可処分所得）」が著しく低くなる実態を考慮する必要があります。

子育て世代を含めた議員の多様性子育てを行う現役世代など多様な立場の市民が経済的な懸念から立候補を断念することがないよう、生活を維持し、活動に専念できる環境整備を「地域の未来を託す専門性と行動力を備えた人材への先行投資」と捉えて検討します。

## ③〈政務活動費〉

### 「専門性を維持するための「スト」

調査研究の阻害要因を排除県内最低額の水準である現状が、より良い施策を打ち出すための調査・研修を妨げていないか。また、活動費の不足が議員報酬から補填を要し、実質的に生活を圧迫していないかを検討します。

## 「量」から「成果」へ

質問回数などの「量」だけでなく、その調査・提言がどれだけ行政施策を動かしたかという「成果」に着目し、透明性の高い活動を目指します。

## ④〈加茂市独自の在り方〉

### 「平均値」によらない加茂市議会の在り方

本市の特性に即した判断他市町村との比較や類似団体の「平均値」に安住することなく、本市の財政状況や将来推計をしっかりと直視しつつ、これからの加茂市議会がどうあるべきかを主体的に考えます。

## 独自の指針による検討

「他がこうだから」という受動的

な姿勢ではなく、加茂市の持続可能な発展のために、議会としてどのような体制が最も効果を発揮するのか。独自の高い志と方針に基づき、加茂市議会のこれからの姿を導き出します。

### 3. 先進地視察で見えてきたもの (長野県佐久市・小諸市)

令和8年1月には、議会運営委員会と合同で長野県佐久市・小諸市を視察しました。両市議会とも、定数削減や報酬増額を検討するなど「議員を職業として確立させ、若手や女性の参画を促す」ための大胆な改革を実行していました。「議会が市民にとって何をしてくれる場所なのか」を明確に示す姿勢は、非常に示唆深いものでした。

### 4. 市民の皆さんからの声をいただき、より良い議会へ

この改革は、議員だけで考えるものではありません。市民の皆さんからのご意見を伺い、「議会機能を強化し、市民の皆さんにとってより良い議会の在り方を目指す改革」です。是非、ご意見をお寄せください。

## 12月議会報告会(座談会)

令和8年1月17日(土)に、議会報告会を開催しました。

今回は新たな試みとしてグループ形式による座談会を取り入れました。

当日は参加者と議員が3つのグループに分かれ、地域の課題や市政について、普段感じていることや地域の話などが率直に語られ、時折笑いも交えながら終始和やかな雰囲気の中で活発な対話が行われました。議員にとっても、市民の皆さまの声を直接伺う貴重な機会となりました。

報告では、アーバンベア捕獲緊急支援事業の説明を行いました。

全体座談では、議会改革特別委員会設置の動議に対して反対した理由について説明を求める質問がありました。また、議会のYouTube配信について、音声聞き取りにくい時もあるため、テキストでの情報発信も検討してほしいとの要望が寄せられました。

## 加茂市議会

# 女性フォーラム — 私の生活と議員の仕事 — 開催

### — パネリスト紹介 —



ストラットン恵美子 議員

・上越市議会議員  
(2期目) 三条市出身



信賀 陽子 議員

・見附市議会議員  
(1期目) 長岡市出身



高橋 妙子 議員

・燕市議会議員  
(1期目) 新潟市出身



杉田 優子 議員

・加茂市議会議員  
(1期目) 加茂市出身

令和8年4月5日(日)に、加茂市議会として初の女性フォーラムを開催しました。

議員のなり手不足解消に向けた取り組みとして、女性議員の視点から議員の仕事や生活の変化など、普段の活動からではなかなか聞く機会のない内容を語っていただき、参加者に議員の仕事に対する興味や関心をもってもらうことを目的としました。

当日は約40名が参加し、そのうち女性が7割を占めました。多くの参加者が議員の仕事などに関心をもってくださいっていると感じました。

約2時間の開催でしたが、参加者からは積極的な質疑があり、議員になってからの生活の変化ややりがい、立候補のきっかけ、議員としての責任感など、多岐にわたる質問に対し、パネリストの方々から率直な意見をいただきました。

参加者およびパネリストからは「非常に有意義なフォーラムだった」と高い評価をいただきました。

## 1月臨時会 議案審議結果

議案番号	件名	結果
市長提出議案		
1	令和7年度加茂市一般会計補正予算（第12号）	原案可決

## 3月定例会 議案審議結果

議案番号	件名	結果
市長提出議案		
2	専決処分承認について（令和7年度加茂市一般会計補正予算第13号）	承認
3	令和8年度加茂市一般会計予算	原案可決
4	令和8年度加茂市国民健康保険特別会計予算	〃
5	令和8年度加茂市後期高齢者医療特別会計予算	〃
6	令和8年度加茂市宅地造成事業特別会計予算	〃
7	令和8年度加茂市介護保険特別会計予算	〃
8	令和8年度加茂市水道事業会計予算	〃
9	令和8年度加茂市下水道事業会計予算	〃
10	令和7年度加茂市一般会計補正予算（第14号）	〃
11	令和7年度加茂市下水道事業会計補正予算（第3号）	〃
12	加茂市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
13	加茂市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
14	新潟県加茂市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
15	新潟県加茂市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
16	新潟県加茂市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃
17	新潟県加茂市職員の旅費に関する条例等の一部改正について	〃
18	加茂市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	〃
19	加茂文化会館条例の一部改正について	〃
20	加茂市保育所条例の一部改正について	〃
21	加茂土産物センター・インフォメーションセンター条例の一部改正について	〃
22	加茂ショッピングパークメリア3階の管理に関する条例の一部改正について	〃
23	加茂市職員の外国旅行の旅費に関する条例の廃止について	〃
24	三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合の公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	〃
25	加茂市過疎地域持続的発展計画の策定について	〃
26	市道路線の認定について	〃
27	令和7年度加茂市一般会計補正予算（第15号）	〃
28	令和8年度加茂市一般会計補正予算（第1号）	〃

次の定例会は

6月17日(水)から開催の

予定です。

### 読者アンケートのお願い

いつも議会だよりを読んでくださり、ありがとうございます。  
 広報広聴特別委員会では、市民のみなさんに加茂市議会の動静をわかりやすく情報発信するため活動しております。  
 議会だよりについてアンケートを実施しておりますので、ぜひご回答をお願いいたします。



#### やりかた

- ① スマートフォンのカメラを起動
- ② 中心を左の模様の枠内に合わせる
- ③ URLが表示されたら、タップする